

# 2018年度家庭の省エネアンケート 回答結果

茨城県内イベント等でアンケート回答数 2,475 件のうち、県内の回答数は 2,358 件であった。  
茨城県内の回答結果をまとめたものを以下に示す。

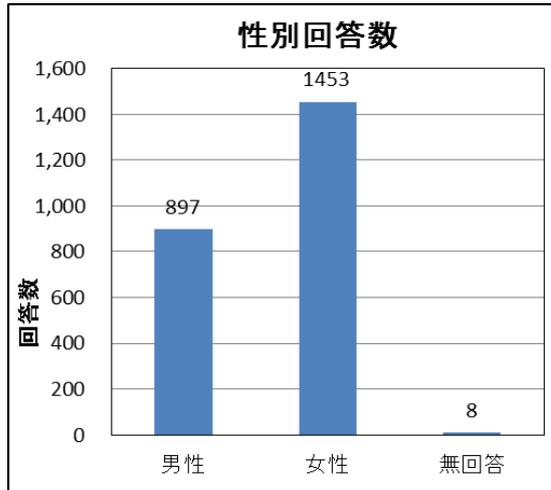


図-1 性別回答数

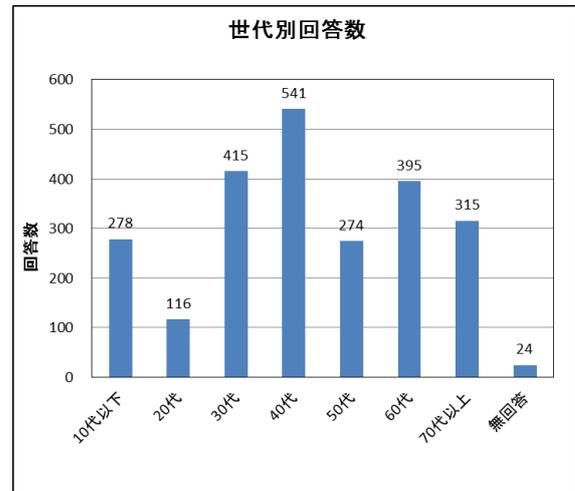


図-2 世代別回答数

性別回答数は、全体に占める割合が男性 38.0% (897 件)、女性 61.6% (1,453 件)、無回答 0.4% (8 件) と男性が約 4 割、女性が約 6 割であった。

世代別回答数については、「40 歳代」が 22.9% と最も多く、ついで「30 歳代」が 17.6% となった。

表-1 省エネ対策取組内容

No.	機器	内容
1	冷蔵庫	設定温度を強から中にする
2		物を詰め込みすぎないようにする
3	照明器具	白熱電球を LED 電球に取り替える
4	テレビ	画面は明るすぎないように調節する
5	エアコン	夏の冷房時の室温は 28℃、冬の暖房時の室温は 20℃を目安にする。
6		フィルターを付きに 1 回、2 回清掃する
7	風呂給湯器	間隔をあけずに入浴
8		シャワー（温水）は流したままにしない
9	電気ポット	長時間使用しない時は電気プラグを抜く
10	電気カーペット	設定温度は低めにする
11	石油ファンヒーター	室温は 20℃を目安にする
12		必要な時だけつける
13	ガスファンヒーター	室温は 20℃を目安にする
14		必要な時だけつける
15	自動車	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む
16		走行中はできるだけ速度を一定に保つ
17		早めのアクセルオフをすること

表-1 のそれぞれの項目について、  
 A.既に実施している  
 B.これから、実施したいと思う  
 C.これからも、実施するのは難しい  
 の3つから回答をしていただいた。

表-2 省エネ効果算出根拠

	CO2排出係数	単位	原油換算係数	単位	金額換算係数	単位
電気 ※1	0.587	kg/kWh	0.252	L/kWh	27	円/kWh
ガス ※1	2.277	kg/m <sup>3</sup>	1.16	L/m <sup>3</sup>	180	円/m <sup>3</sup>
灯油 ※1	2.488	kg/L	0.947	L/L	64	円/L
ガソリン ※2	2.322	kg/L	0.893	L/L	120	円/L
水道 ※1	0		0		228	円/m <sup>3</sup>

係数の引用元(平成30年7月現在)

※1 省エネ性能カタログ2017年冬版(経済産業省 資源エネルギー庁 発行:2017年12月)

※2 家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬(経済産業省 資源エネルギー庁 発行:2017年8月)

上記の表-2の係数を使いCO<sub>2</sub>の削減効果を計算した。

表-3 普及啓発による削減効果

	削減効果		
	削減量(CO <sub>2</sub> -kg)	削減経費(円)	原油換算量(L)
普及啓発前	1,305,867.1	70148260	550,885.45
普及啓発後	445,338.3	23640710	191,439.16
合計	1,751,205.3	93788970	742,324.61

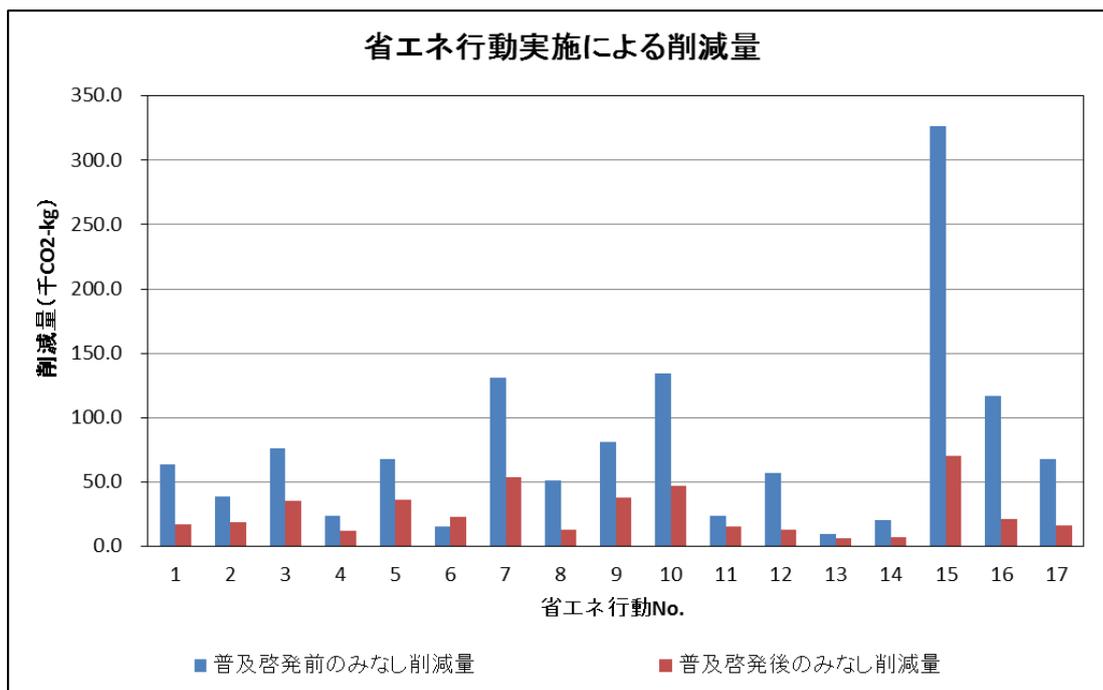


図-3 省エネ行動実施による削減量

表-3及び図-3に、今回アンケートを使用した普及啓発による温室効果ガスの削減量を示す。  
CO<sub>2</sub>換算で普及啓発前が 1,361,366.3CO<sub>2</sub>-kg、普及啓発後 465,315.9 CO<sub>2</sub>-kg、合計 1,826,682.2 CO<sub>2</sub>-kgという結果になり、一人当たり削減量は 738.0534 CO<sub>2</sub>-kgとなった。

また、削減経費に換算すると、普及啓発前が 85,053,480 円、普及啓発後が 27,495,590 円、合計 112,549,090 円という結果になった。

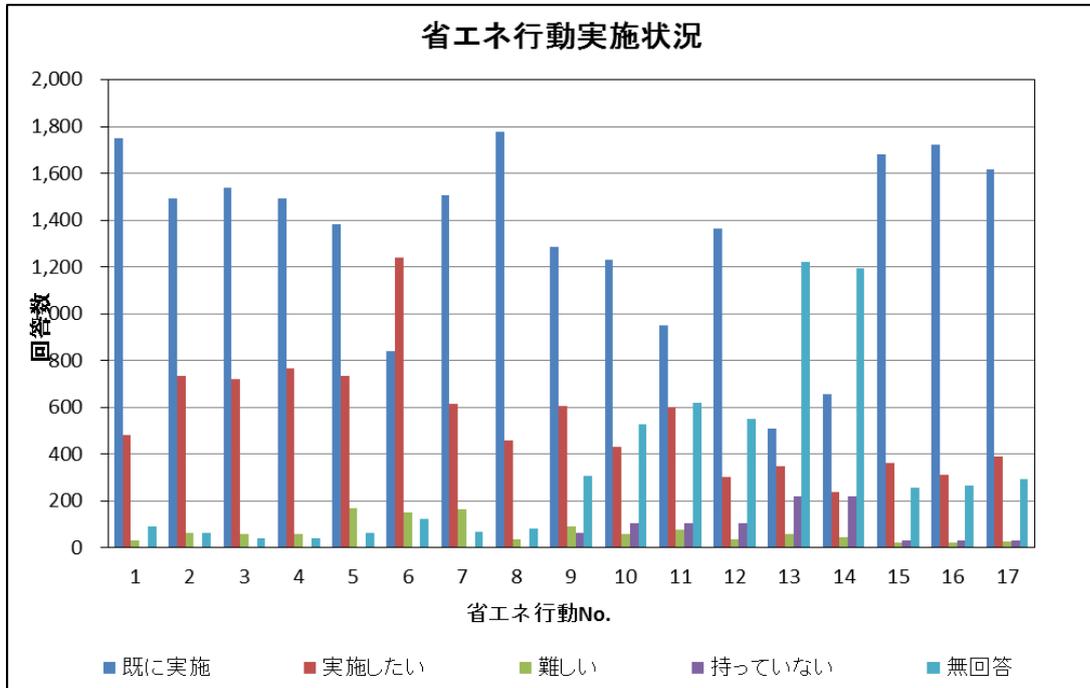


図-4 省エネ行動実施状況

省エネ行動の実施状況として、概ね「既に実施」「これから、実施したいと思う」が多かった。

機器別に見ると 1.2 冷蔵庫、3 照明器具、4 テレビ、7.8 風呂給湯器、15.16.17 自動車については「既に実施」の回答数が多く、これらの機器に関しては既に省エネ意識が高まっていることが伺える。また、6 エアコンについては、「これから、実施したいと思う」の回答の割合が多く、これらの機器においてはこれから省エネ行動が促進され、削減量が増えていくことが期待される。

**家庭の省エネでこんなにお得**

2013年度の家庭別の家庭部門におけるCO<sub>2</sub>排出量は、全体の約8%を占めています。家庭部門の削減目標は、2030年度までに2013年度の家庭部門での削減目標を掲げています。

- 1 冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にする: CO<sub>2</sub>削減 1,670kg, 削減額 1,180円
- 2 冷蔵庫の中を半分にすると: CO<sub>2</sub>削減 25.7kg, 削減額 36.2円
- 3 LEDに交換すると: CO<sub>2</sub>削減 2,430kg, 削減額 1,730円
- 4 テレビ(32V型)画面の輝度を最低に調整すると: CO<sub>2</sub>削減 52.8kg, 削減額 15.9円
- 5 エアコンの設定温度を28℃暖房温度を20℃にする: CO<sub>2</sub>削減 2,250kg, 削減額 1,630円
- 6 エアコンのフィルタを清掃すると: CO<sub>2</sub>削減 860kg, 削減額 620円
- 7 シャワーを1分間短縮すると: CO<sub>2</sub>削減 6,880kg, 削減額 5,000円
- 8 ショーワを1分間短縮すると: CO<sub>2</sub>削減 3,300kg, 削減額 2,400円
- 9 電気ポットを保温しない: CO<sub>2</sub>削減 2,900kg, 削減額 2,100円
- 10 洗濯機を1時間短縮すると: CO<sub>2</sub>削減 5,020kg, 削減額 3,600円
- 11 ガスファンヒーターを20℃に設定すると: CO<sub>2</sub>削減 1,470kg, 削減額 1,050円
- 12 石炭ファンヒーターを20℃に設定すると: CO<sub>2</sub>削減 650kg, 削減額 470円
- 13 ガスファンヒーターを20℃に設定すると: CO<sub>2</sub>削減 18.6kg, 削減額 13.5円
- 14 ガスファンヒーターの使用を1時間短縮すると: CO<sub>2</sub>削減 31.1kg, 削減額 22.5円
- 15 自動車の燃費を10%向上させると: CO<sub>2</sub>削減 10,030kg, 削減額 7,200円
- 16 自動車の燃費を10%向上させると: CO<sub>2</sub>削減 3,510kg, 削減額 2,500円
- 17 自動車の燃費を10%向上させると: CO<sub>2</sub>削減 2,170kg, 削減額 1,550円

**省エネ行動**

1年間の削減量

- 1 電気ポットを保温しない: CO<sub>2</sub>削減 2,900kg, 削減額 2,100円
- 2 洗濯機を1時間短縮: CO<sub>2</sub>削減 5,020kg, 削減額 3,600円
- 3 ガスファンヒーターを20℃に設定: CO<sub>2</sub>削減 1,470kg, 削減額 1,050円
- 4 石炭ファンヒーターを20℃に設定: CO<sub>2</sub>削減 650kg, 削減額 470円
- 5 ガスファンヒーターを20℃に設定: CO<sub>2</sub>削減 18.6kg, 削減額 13.5円
- 6 ガスファンヒーターの使用を1時間短縮: CO<sub>2</sub>削減 31.1kg, 削減額 22.5円
- 7 自動車の燃費を10%向上: CO<sub>2</sub>削減 10,030kg, 削減額 7,200円
- 8 自動車の燃費を10%向上: CO<sub>2</sub>削減 3,510kg, 削減額 2,500円
- 9 自動車の燃費を10%向上: CO<sub>2</sub>削減 2,170kg, 削減額 1,550円

**家庭の省エネアンケート**

ご回答ありがとうございます。アンケート結果は、環境省のホームページに掲載させていただきます。

【ご回答後】アンケート結果は、環境省のホームページに掲載させていただきます。

【ご回答後】アンケート結果は、環境省のホームページに掲載させていただきます。